

合格体験記

ver. 中村 樹生
Nakamura Tatsuki

☆Profile☆

あだ名：タッキー
出身：石川県金沢市
趣味：野球観戦
特技：スマホゲーム
(プロスピ)

～座右の銘～

“かわった人の人生に
良い影響を与えること”



1.自己紹介

現在、私は、管財部管財総括第二課に所属しています。法学部出身で専攻は政治哲学ですが、民法が得意でした。好きなものは野球と乃木坂46です。野球では阪神タイガースの鳥谷敬選手（今は退団してしまったのですが...）を推していて、乃木坂46では西野七瀬さん（今は卒業してしまったのですが...）を推しています。現在の目標は先日、健康診断の腹囲測定にてナースの方から、「若いのに可哀そう、あと3cmでメタボだわ♥」という愛のある忠告を受けたので腹筋を割ることです。

2.財務専門官を知ったきっかけ 志望理由

財務専門官については、当時通っていた予備校での説明会を通して知りました。そして、何度か説明会に参加するにつれて、次第に志望度が高まっていきました。特に、国と地方をつなぐ架け橋のような役割を果たすという使命に、私は惹かれ、強い憧れを抱いたことを今でも覚えています。

3.業務内容・職場の雰囲気

現在は公務員宿舎に関する業務に携わっており、主な内容としては、宿舎の入退去管理と修繕の二本柱となっています。特に修繕業務に関しては、色々なところが壊れるので、日々修繕方法に頭を悩ませています。

また、職場の雰囲気については、職員の方々のオンオフの切り替えがしっかりしていて、メリハリをつけて業務に臨めているような印象を受けます。

4.財務専門官試験について

公務員試験の筆記試験全般に言えることですが、とにかく科目数が多いので、限られた時間の中でどれだけ効率よく知識を定着させることができるかということを念頭に置いていました。そういった中で、予備校の先生の授業を隙間時間に繰り返し聞くということをしていました。また、自分は字を書くのが嫌いだったので一冊のテキストを繰り返し読むなどして、字を書く時間を減らし、勉強の効率化を図っていました。

面接試験対策としては説明会などのイベントになるべく参加し、話のネタになるようなことを探していました。

5.学生等へのメッセージ

就職活動は思い通りにいかないこともあり、つらい時期もあるかもしれませんが、今までの自分を見つめなおし、未来の自分に思いを馳せるととてもいい機会になると思うので、自分の可能性を信じて突き進んでください！陰ながら応援しています。

合格体験記

ver. 山 和希
Yama Kazuki

☆Profile☆

あだ名：マウントかず
出身：石川県金沢市
趣味：ラーメン屋巡り
特技：楽器演奏

～座右の銘～
“人間万事塞翁が馬”



1.自己紹介

はじめまして。現在、私は、理財部 特別主計実地監査官に所属しています。法学部出身で政策過程論を専攻し、行政の制度等を研究していました。趣味は楽器演奏で、大学時代はマンドリン（イタリアの弦楽器）クラブに所属し、クラブ員たちと熱い演奏を楽しんでいました。冬のボーナスでマンドリンを買うか検討中です。

2.財務専門官を知ったきっかけ 志望理由

財務専門官を知ったきっかけは、公務員試験の国家専門職をどこで受験しようか、パンフレットをいろいろと読んでいた際、財務専門官という職種を発見したことでした。そのパンフレットには、財務専門官が「財政や金融等のプロフェッショナル」として、多岐にわたる業務に取り組んでいることが書かれてあり、そうした専門性の高い業務に興味を惹かれました。

3.業務内容・職場の雰囲気

特別主計実地監査官の主な業務として、予算執行調査があげられます。

予算執行調査とは、あまり効果のない、非効率な国の事業について調査を実施、事業の見直し等を求め、効率化を図るものです。これ以外にも調査業務が比較的多い課ですので、いろいろな場所へ外出することができます。

職場の雰囲気は明るく、質問がしやすい雰囲気であり、新規採用職員であっても働きやすい環境だと思っています。年次休暇も上司の方が率先して取得していますので、係員だから休みづらいということは一切ありません。（今年の夏に10連休をとることができました！）

4.財務専門官試験について

大学で公務員講座を受講していましたので、講義を基本に勉強していました。問題集は経済、法律を4,5回転、その他の科目も2,3回転しました。

二次試験の面接カードは、大学の就職支援室、公務員講座の講師などいろいろな人に添削してもらいました。できる限り多くの人に見てもらおうと良いかと思います。

反省点としては、一日のスケジュールを決めず、その時の気分で勉強する科目を決めていたので、進行具合にむらができてしまい最後に焦ったことです。大まかでもよいので学習計画を立ててから勉強に取り組むことをおすすめします。

5.学生等へのメッセージ

公務員試験は企業に比べ選考期間も長く、もう嫌だと思ふときが何度もあるかもしれませんが、そうなってしまったときは思い切って好きなことをし、気分転換をすることも大事だと思います。友人同士で愚痴を言いあったり何でもよいので適度に息抜きをしながら頑張ってください！！

合格体験記

ver. 堀 達哉
Hori Tatsuya

☆Profile☆

あだ名：ほりえもん
タッチャン
出身：富山県高岡市
趣味：卓球
特技：箱の包装
(学生時代バイトで会得)
～座右の銘～
“ 何事も100% ”



1.自己紹介

はじめまして。現在、私は、総務部門経済調査課に所属しています。大学では経済学を専攻していました。出身は富山県で、現在は金沢市内で一人暮らしをしています。中学生のころから卓球を続けており、今でも仕事終わりや休日に友人と練習等しています。週末は実家に帰省するなど、のんびりと過ごしています。

2.財務専門官を知ったきっかけ 志望理由

財務専門官を知ったきっかけは、大学での説明会でした。説明会で北陸財務局のお話を聞くまでは、就職先としてぼんやりと県庁や市役所を考えていました。しかし、財務専門官は「地域経済や地域社会に根差した、国と地方をつなぐ財政・金融のプロである」というお話を聞き、私もその職務に携わりたいと強く思うようになり、ぼんやりと考えていた進路がはっきりとしました。

3.業務内容・職場の雰囲気

私の所属する経済調査課では、北陸3県の個人消費や生産活動、雇用情勢等の現状を調査し、その結果を記者発表及び当局ホームページなどを通じて公表しています。

私は、個人消費を担当しており、各種経済指標の分析とともに、コンビニエンスストアやドラッグストア、家電大型専門店等への企業訪問によるヒアリングを行い、北陸3県の個人消費がどのような状況にあるかという判断をしています。こうした調査結果は、財務省に報告して財政・経済政策の企画・立案に役立てていることから、まさに地域に根差し、国と地方をつなぐ役割を担えているのではないかと考えています。

同期とは月に1度は全員で飲み会の場を設けて他愛のない会話をしています。また、先輩方とは昼食や飲み会に誘っていただいたり、スポーツをしたりと、楽しい時間を過ごせています。

4.財務専門官試験について

財務専門官試験は、募集人数が少なく、1次試験の合格点も高いという難しいイメージを持たれると思います。(私もそうでした。)しかし、目標を決めたあとは、他のどんな試験でも合格に向けて勉強することは同じであると思います。財務専門官試験は科目選択ができ、自分の得手不得手に合わせて選びやすいと思います。2次試験以降、面接の際は、しっかりと受験生の話を聞き、人となりを見ているように感じました。

5.学生等へのメッセージ

この文章を読んでいる方は少なからず財務局の業務に関心があるのではないかと思いますので、ぜひ説明会等で直接お話を聞いてみてください。専門的でありながら幅広い業務を行っているので、興味を持てる業務がきっとあると思います。また、いろんな話を聞いて進路に迷ったときは、説明者の雰囲気も1つの判断材料になると思います。北陸財務局の説明者は楽しそうに業務を説明してくれるはずです。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

合格体験記

ver. 米津 直人
Yonetsu Naoto

☆Profile☆

あだ名：ずっち
出身：富山県富山市
趣味：貯蓄
（その他に相撲観戦）
特技：貯金

～座右の銘～
“人事を尽くして
天命を待つ”



1.自己紹介

はじめまして。現在、私は、理財部金融監督第二課に所属しています。法学部出身で刑事訴訟法を専攻していました。好きなことは大相撲観戦と旅行です。大相撲は私と同じ富山県出身の朝乃山関を応援しています。旅行は学生時代に40都道府県に行きました。今後は訪れたことのない県や海外旅行に行きたいと思っています。

2.財務専門官を知ったきっかけ 志望理由

大学3年生の11月に行われた業務説明会に参加したことがきっかけでした。財務局の業務は国と地域を結び、地域に貢献できる点に魅力を感じました。また、金融業界に興味があったため、金融行政に携わることのできる財務局を志望しました。

3.業務内容・職場の雰囲気

金融監督第二課は信用金庫、信用組合、労働金庫などの協同組織金融機関を監督しています。日々、金融機関の方とやりとりしながら、金融機関が健全で円滑にその使命を果たすことができるようにサポートしています。

私の主な業務は金融機関からの提出書類の事務処理や金融庁への報告資料の作成です。

質問や相談がしやすい雰囲気、分からないことや困ったことがあったら周りの先輩職員や上司は親身になって答えてくださいます。

4.財務専門官試験について

問題集とテキストを周回することが効果的でした。何度も取り組むことで解ける問題を徐々に増やしていくことができました。

財務専門官試験よりも先に実施される公務員試験を受験することをおすすめします。理由は筆記試験では時間配分の練習ができ、問題集には載っていない問題を解くことができるからです。また、面接試験も経験できるからです。

5.学生等へのメッセージ

財務局には財政、経済調査、金融、国有財産など、幅広い業務があります。どの業務も地域に貢献できる点が財務局の魅力であると思います。金融監督業務は地域の経済発展に貢献するという重要な使命をもつ金融機関をサポートして、地域に貢献できるという点にやりがいを感じています。

また、残業が少なく、有給休暇のとりやすい職場であり、ワークライフバランスの充実している職場です。

就職活動は今までの人生で一番大きな選択を迫られることになるかもしれませんが、努力すればよい結果がついてくると思っていますので、最後まであきらめずにがんばってください。